

特別支援教育とは

障害のある子どもの自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、子どもの教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善、克服するため、適切な指導や必要な支援を行うものです。

こんな支援をしています

通常の学級

子どもが安心して学習や活動ができるよう、教室環境を整えて学級や集団のルールを分かりやすく示したり、集団でのさまざまな活動を通して望ましい仲間づくりを行うとともに、どの子どもにとってもわかりやすい授業づくりを行っています。

通級指導教室

通常の学級に在籍している発達障害等がある子どもが、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、課題に応じて通級指導教室で特別の指導を受けることができます。学校に通級指導教室が設置されていない場合は、放課後の時間等に、設置されている学校へ通うことができます。

支援学級

障害による学習上や生活上の困難を克服する教育を行うために、特別に編成された学級です。障害の状況に応じた目標を設定し、小集団で学習を行います。学習効果を高めるために、国語や算数などの各教科等の内容を合わせた学習を行うこともあります。支援学級には弱視、難聴、知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、自閉症・情緒障害の学級があります。また、市立総合医療センターに入院している子どもを対象とした院内学級があります。

支援学校

発達や身体機能に重度の障害がある子どものため、障害の状況に応じ、より生活に根ざした内容を学習します。特に自立活動を重視し、例えば、着替えや手洗いの方法などを学ぶ基本的な生活習慣の学習、季節の行事など生活を豊かにする体験学習、将来の社会参加に向けて必要な力をつける学習等を行っています。

「発達障害」について

発達障害は、育て方や家庭環境などに起因するものではなく、脳機能の障害によるものと考えられています。発達障害のある子どもが、社会に適応する力を身につけながら、自分らしく成長できるようにするためには、周りの大人が発達障害に早く気づき、療育等の必要な支援を行うことが大切です。

■ 広汎性発達障害(自閉症、アスペルガー症候群など)

言葉の発達の遅れ、コミュニケーションの障害、対人関係・社会性の障害、パターン化した行動、こだわりなどの困難がみられます。



大好きな○○のことを話し出すと止まらないんだ。友だちから「もう話すのやめて」と言われて、けんかになっちゃった。

■ 学習障害(LD)

聞く、話す、読む、書く、計算する、推論するなどの特定の能力を学んだり行ったりすることに著しい困難がみられます。



計算は得意だけど、漢字がなかなか覚えられないんだ。

■ 注意欠陥多動性障害(ADHD)

集中できない、じっとしていられないなど、行動面での困難がみられます。



何度言われても忘れ物をしてしまう。どうしよう。

※これらは主な発達障害の特徴であり、複数の障害が重なって現れたり、障害の程度や年齢、生活環境によっても現れ方は違ってきます。

小学校では、特別支援教育に関する相談窓口でもある特別支援教育コーディネーターを中心に、特別支援教育をすすめるための「校内委員会」を組織し、子どもの教育的ニーズに応じた支援方法を検討しています。

入学するにあたって、不安なこと、心配なことがある場合は、就学相談をご利用ください。また、「あい・ふぁいる」もご活用ください。